

東京栄養サミット2021について

- 栄養サミットとは、栄養改善に向けた国際的取組を促進する会合。オリンピック・パラリンピックの開催国が開催するのが慣行で、4年に一度開催されている。英国（ロンドン）・ブラジル（リオ）に続き開催。
- 東京栄養サミットは、2021年12月、東京都内で開催し、5つのテーマについて議論し、成果文書をまとめる予定。
- 農林水産省は、5つのテーマのうち、特に、テーマ2「食：健康的で持続可能な食料システムの構築」に関与。

概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 時期：2021年12月、7日・8日 ● 場所：東京都内 ● 主催：日本政府 ● 想定される出席者：各国政府ハイレベル、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業他 ● 目的：世界の栄養改善の現状と課題を確認し、課題解決のための国際的な取組を推進する
想定される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記の5つのテーマに関して、各ステークホルダーの参加のもと議論し、成果文書（コンパクト）をまとめる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への統合 ② 食：健康的で持続可能な食料システムの構築 ③ 強靱性：脆弱な状況下における栄養不良対策 ④ 説明責任：データに基づくモニタリング ⑤ 財政：栄養改善のための財源確保 ● 全ステークホルダーが、SMARTコミットメントを表明。 ● 我が国の栄養に対する国内外の取組をパッケージとして発信。 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の取組：国民健康・栄養調査、学校給食、栄養士の育成、母子健康手帳を用いた栄養指導等 ・近年の取組：生活習慣病に対する法的枠組みを含む取組、食育、健康経営、「IFNA」、「栄養改善事業推進プラットフォーム」)等

【N4Gのためのロードマップ】

2020.12.14
Nutrition Year of
Action Launch event

2021.7.26-28
国連食料システム
プレサミット

2021.9
国連食料システムサミット

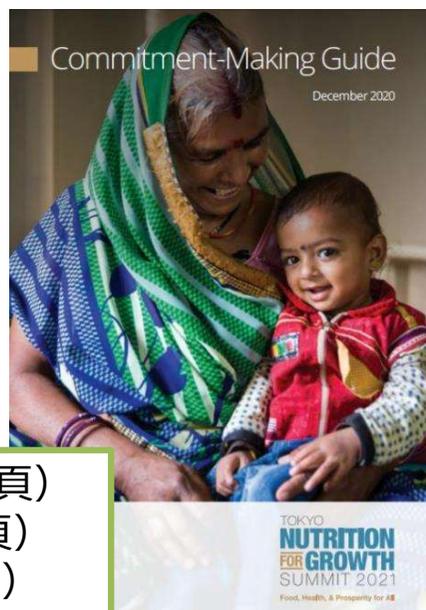
2021.12
東京栄養サミット2021

東京栄養サミットにおけるコミットメントの重要性

- 日本政府は、**栄養改善に取り組むすべてのステークホルダーにSMARTコミットメントの表明を期待。**
- 食関連企業・団体がコミットメント表明することは、世界に対し、自社の栄養改善の社会的貢献を示すだけにとどまらず、企業等の価値を高め、ひいては国内の食市場が縮小する中、海外展開の戦略につながりうる。
- 東京栄養サミットに先立ち開催される「国連食料システムサミット」でも全ステークホルダーにコミットメントを求めており、日本の食品関連企業数十社が自社のSDGsの取組等を表明。
- 農林水産省は、栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)協力の下で食関連企業が実施しているコミットメント作成に向けた勉強会の支援、個々の企業とのWEB会議の実施等、食関連企業のコミットメント作成をサポート。

【SMARTコミットメントとは】

- S**pecific : 具体的
- M**easurable : 測定可能
- A**chievable : 達成可能
- R**elevant : 適切性
- T**ime-Bound : 達成期限付き



【ロンドンサミットの成果文書】

- 構成：①今後の取組の方向性（3頁）
②コミットメント・サマリー（3頁）
③コミットメント・リスト（36頁）
- 94のステークホルダーが採択
- 22の企業が栄養を据えた企業戦略を表明

【コミットメントの登録】

- コミットメント登録はN4Gサイトから実施
<https://forms.gle/TS4bjJrfgBNdh57h7>

コミットメント登録例

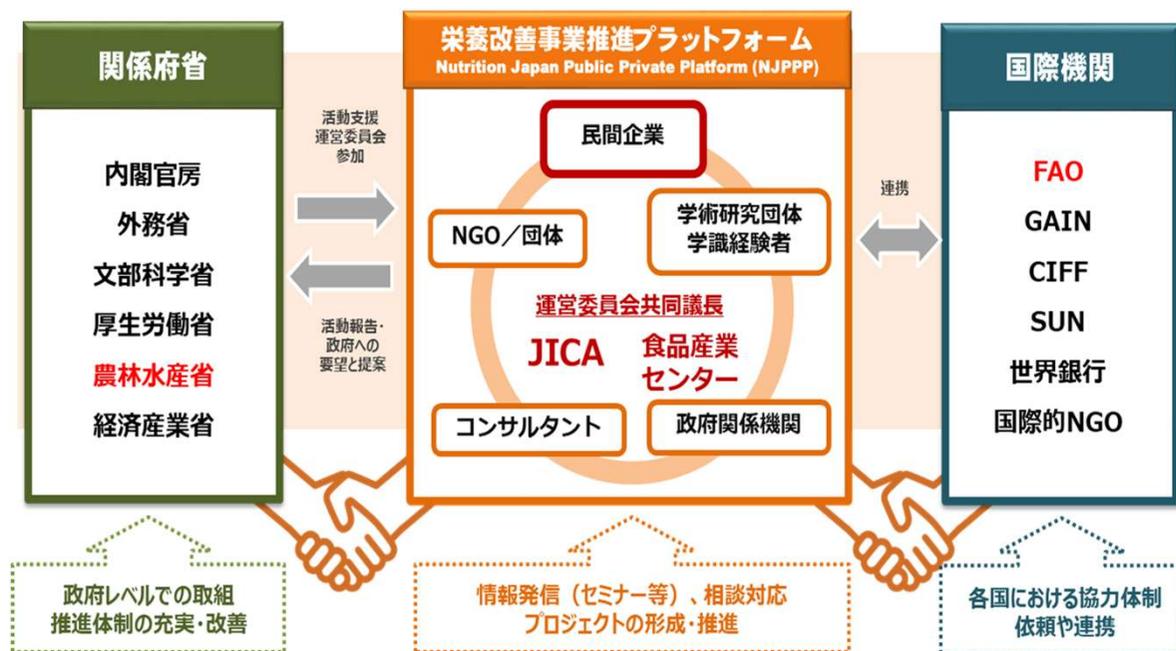
- ゴール：子供の衰弱を減少させる
- 行動計画：普段の食事に混ぜるだけでタンパク質摂取ができる「商品名:★★」を、貧困家庭に、安価で購入してもらう
- セッティング：〇〇国の△△州
- 対象人口：約30万人の児童
- 第一指標：子供の衰弱が5%減少する
- 経費合計：5,000万円
- コミットメント期間：2022年4月～2024年4月
- フルコミットメント：2024年4月までに、販路を確保し、〇〇国の△△州の約30万人の子どもたちに★★を届け、2年間で衰弱を5%減少させる

※上記の例は外務省がNJPPPセミナーで参考事例として提示したもの

農林水産省の栄養改善の取組と東京栄養サミットでのサイドイベント

- 健康・医療戦略に基づき、2016年に、官民連携で栄養改善事業を推進するNJPPPを設立。栄養改善効果が期待できる途上国の国民向け食品供給事業のビジネスモデル構築を推進。
- 農林水産省は、NJPPPによる途上国の職場給食の改善の活動を支援しており、東京栄養サミットで成果を紹介。
- **農林水産省は、東京栄養サミット同日に、サイドイベントを主催**。サイドイベントでは、食に関するセッションを開催し、海外展開を目指す我が国食品産業及び農林水産業のプレゼンスを高めるセミナー・シンポジウム等を実施。加えて、**食関連企業・団体のコミットメント表明の場も設定**。

【NJPPPと官民連携の枠組み】



【農林水産省主催のサイドイベント】

食に関するセッション

栄養分野に貢献する日本の農業・食料産業に係る取組をPRする場の設定（パネル展示、セミナー）

栄養改善に貢献する企業・関係団体の円卓会議

途上国等の政府関係者、NGO代表等を招へいし、我が国食品企業の世界の栄養分野への貢献に関するプレゼンテーションや、官民が連携した今後の取組の議論を行う円卓会議等を開催

食関連企業のコミットメント表明

国内食関連企業等によるコミットメント表明の場を設定

東京栄養サミットでの企業の活動は、国内外に広く発信します。ぜひ、コミットメント表明をご検討ください！